

## 【地域における耐震化の取組紹介】

# ～ 地域ぐるみの住まいの耐震点検、今からできる住まいの耐震化 ～

### 1 学習！誰でもわかるすまいの耐震基礎知識

- ①セミナー：耐震ネットワークメンバーが講師となり、すまいの耐震化についてパネル等を用いて10分程度講義を行う。

セミナーテーマ例

- ①京都の地震とその被害の特徴について
- ②すまいの耐震（事前予防）と町内の一時避難場所（事後対応）の重要性について
- ③「京都3・3・3の原則」について
- ④耐震改修の3ステップと改修費用について
- ⑤すまいのチェック、修繕方法について
- ⑥京都市の耐震支援制度について



市民に分かりやすく説明を行うために、下記のような体験型のセミナーとすることも可能。

- ・「電動ぶるるくん」を用いて地震時の家の揺れ方を確認する。
- ・阪神淡路大震災（兵庫県南部地震）を再現した実物大の木造住宅の倒壊実験映像を見ながら、建物を耐震化することの重要性について学ぶ。



電動ぶるるくん



### ②グループワークショップ

セミナーに付随して、以下のようなグループワークショップを実施する場合もある。

（実施例）

- ①参加者を3つのグループ（地震発生から3分後、3時間後、3日後）に分け、それぞれに状況（テーマ）を設定しその時できること、できないことについて意見を出し合う。（意見は各自で付箋に記入）
- ②各グループにまとめ役となるホスト1名が付き、各テーマ10分、テーブルを移動しメンバーを変えながら意見交換を行う。
- ③最後に、各グループから出された意見について発表を行う。

<p><b>3分後</b></p> <p>自宅の倒壊は免れ、夫婦でなんとか屋外へ飛び出しましたが、子供の姿が見当たりません。隣家は倒壊しています。</p> <p><b>この時、何をしますか？</b></p> <p>自分でできること → 青</p> <p>自分でできないこと → 赤</p>	<p><b>地震発生！</b> その時の状況</p> <p>家族全員、自宅にいます。</p> <p>お母さんはキッチンで食事の用意、お父さんは居間でテレビを見ています。子供2人は2階の自室で宿題中。</p>
--	---

配布資料（例）



ワークショップの様子

## 2 巡回！すまいの耐震パトロール

地域の役員の方・耐震ネットワークのメンバー・行政職員がグループを作り、古い木造住宅を直接訪問して、すまいの耐震化の大切さを伝えながら、耐震化支援事業の紹介、案内チラシの配布を行う。

学区全体を巡回する場合と、学区内で数か所を選び、町内を巡回する場合とがある。



## 3 出張！すまいの安全点検（出張版専門家派遣制度）

大工、左官などの「まちの匠」と建築士がチームを組んで、事前申込のあった住宅を訪問し、すまいの傷み具合の点検と改修や維持管理のアドバイスを行う。

### 専門家派遣制度

これから耐震改修などをお考えの方に専門家を派遣し、すまいの点検や相談を実施するもの。

派遣日時は、申込日から2週間後以降の日を原則とし、専門家と調整のうえ決定する。

- ◆**申込対象** ①申込対象：京都市内の昭和56年5月31日以前に建築された木造住宅  
②申込できる方：申込対象となる住宅の所有者、購入予定者、居住者又は居住予定者

- ◆**費用** 専門家1名につき1,000円  
※原則、専門家は1回につき2名（合計2,000円）派遣。  
※費用は派遣当日に専門家へ直接お支払いいただく。

- ◆**派遣日時** 派遣日時は、ご希望日をもとに、専門家と調整して決定する。希望される派遣日時は、申込日から2週間後以降の日を原則とする。派遣業務は1時間程度。

- ◆**申込先** 京安心すまいセンター

- ◆**申込方法** TELあるいは申込書に記入の上FAX、郵送

### 【派遣する専門家について】

「京都市耐震改修促進ネットワーク会議」の各構成団体（建設業界団体など）が推薦する各業種の専門家（設計士、大工、左官屋、瓦屋、板金屋、金物屋など。）。

## 4 開業！すまいのお医者さん

地域の施設内で、すまいに関する個別相談会を行う。

すまいの耐震化に関すること以外の相談にも対応可能。

### 【問合せ先】

都市計画局建築指導部建築安全推進課耐震改修促進係  
電話 075-222-3613